



リフト教習所で指導

ヤマニ屋物流サービス

社内にリフト教習所

新人&庫内要員むけ

【茨城】ヤマニ屋物流サービス（相良拓弥社長、茨城県境町）は、新人ドライバーや倉庫内要員向けに、フォークリフトの教習所を社内開設した。既に新人ドライバーや事故じやっ起者への運転操作を中心とした教習スペースを活用しており、今回のリフト用教習所の開設で両輪体制が整った格好になる。（谷本博）

茨城・古河の倉庫改装

食品などを中心とする古河、2階建て、延べ床面積 6600平方メートルの2階フロアをフォークリフトの教習所に改装。これに伴い、河共同配送センター（古河）にある2棟の倉庫のうち、2階に保管していた商品は、アの大半をフォークリフトで移動させ、3階に保管していた商品は、他の倉庫に移動させた。

同社はドライバーが350人ほど在籍するが、積み地や着地でフォークリフトを操作するケースが多いことから、免許取得は全員に義務付けている。フォークリフトも全拠点合わせて60台所有しており、同教習所に設置されたカウンターフォークリフトとリーチフォークリフト合わせて4台はほぼ毎日稼働する。

教育指導はトラックの専任指導員を務める3人が交代で当たる。新型コロナウイルス禍のこの1年半の間に新人ドライバー50人ほどが入社し、教習専用車も12台に増えた。その大半はドライバー職未経験者のため、オートマチック車に改造したトラックも多くなった。

相良社長は「今後は女性向けの専用車両の開発も目指している。『人間を大切に』とするヤマニ屋物流サービスのポリシーに沿って、今後も更なる職場環境の改善を進めていく」と話している。